

安全データシート（SDS）

1. 化学品（製品）及び会社情報

化学品（製品）の名称
製品名 ヘミングリボンシーラー 6mm/8mm/10mm
整理番号 081618-2404
製品の種類 未加硫ゴム製テープ（裏面粘着テープ付）

会社情報
会社名 メグロ化学工業株式会社
住所 茨城県古河市駒羽根3-14282
担当部署 インレット事業部 技術
電話番号 0280-92-3438
FAX番号 0280-92-7147
E-mail アドレス meguro@meguro-kk.co.jp
緊急連絡先 0280-92-3438

推奨用途及び使用上の制限
自動車ドア、ボンネット等の板金ヘミング曲げ部へのシール材
推奨用途以外への使用の場合は専門家の判断を仰ぐこと。

2. 危険有害性の要約

GHS分類 分類基準に該当しない

GHSラベル要素
絵表示/注意喚起語 なし

他の危険有害性 可燃性
高温分解、燃焼時に発生する塩化水素等のガスは刺激性、腐食性を有する。
漏出すると、海洋生物/鳥類が餌さと誤って摂取し、死亡することがあるため、
漏出防止に配慮する必要がある。
上記以外の危険有害性は低い。

3. 組成及び成分情報

単一化学物質・混合物の区別 加工品（ゴム部：混合物 + 粘着部：加工品（粘着テープ））
化学名または一般名 未加硫ゴム製テープ

ゴム部 成分情報

成分番号	内容成分 (化学名または一般名)	含有量 [wt%]	化学式	CAS No	PRTR法2021年改正 令和5年施行	安衛法施行令 別表第9番号
1	合成ゴムエラストマー	50-60	-	64754-90-1	非該当	-
2	無機充填剤	30-40	-	-	非該当	-
3	酸化チタン(IV)	1-5	TiO ₂	13463-67-7	非該当	191
4	その他添加剤	1-5	-	-	非該当	-
5	粘着部 粘着テープ	-	-	-	非該当	-

粘着部（粘着テープ）構成情報 : アクリル系粘着剤、不織布、シリコーン系離型紙

4. 応急措置

吸入した場合 固形物につき、吸入には該当しない。
皮膚に付着した場合 ゆっくりと剥がし、その後、接触した個所を水と石鹼で洗い流して下さい。
皮膚にかぶれ、痛みなどがある場合には医師の診断を受けて下さい。
眼に入った場合 新鮮な流水で十分に洗い流して下さい。
刺激が継続するか刺激が再発する場合は医師による手当を受けて下さい。
飲み込んだ場合 嘔吐させた後、口の中を水でよくすすいで下さい。
異常を感じるようであれば医師の診断を受けて下さい。
予想される急性症状 特になし。
及び遅発性症状 特になし。
応急処置をする者の保護 特になし。

5. 火災時の措置

消火方法	下記の消火剤で消火して下さい。一般火災と同じ消火方法で行って下さい。
消火剤	水、粉末、炭酸ガス、泡（耐アルコール）
特有の危険有害性	火災時には熱分解や不完全燃焼により、黒煙と塩化水素、一酸化炭素、二酸化炭素を含むガスが発生する可能性がある為、防毒マスクなどの保護具を着用して十分に注意して下さい。
消火を行う者の保護	防火服、耐熱服、空気呼吸器、循環式酸素呼吸器、耐熱手袋など。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急措置	特になし。
環境に対する注意事項	排水溝、下水、河川に流出しないよう注意して下さい。
封じ込めおよび 浄化の方法・機材	残ったものは適当な容器に回収して下さい。 付近の着火源を速やかに取り除いて下さい。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い	
技術的対策	特になし。
安全取扱注意事項	落下等の乱暴な取扱いは避けて下さい。傷、変形などを防止するため衝撃は避けて下さい。人体には直接貼らないで下さい。 はさみ、カッターなどを使用する場合は、刃には十分注意して下さい。 換気が十分にされた場所で使用して下さい。 舐めたり噛んだり、肌に貼り付けたりしないこと。 取り扱い後はよく手を洗うこと。
保管	
保管条件	常温・常湿・冷暗所に保管して下さい。 (極端な高温・高湿は避けて下さい。)
容器包装材料	また、直射日光・風雨・結露・ほこり／塵などは避けて下さい。 通常は紙製の箱、紙袋、ポリ袋等を使用して下さい。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度	該当しない。
許容濃度（日本産業衛生学会） （ACGIH）	該当しない。
設備対策	該当しない。
保護具	特に必要なし。
衛生対策	特に必要なし。カッターを使用する場合は適切な保護具を着用する。 取り扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体（ゴム質状テープ、ロール巻き仕様）
色	白色
臭い	ほとんど無臭
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	データなし
可燃性	あり
爆発限界及び爆発上限界／可燃限界	データなし
引火点	データなし
自然発火点	300℃以上で相当時間空气中に暴露すると燃焼することがある。 400℃以上の温度で発火することがある。
分解温度	データなし
PH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	[水] 不溶 [他] 有機溶剤に一部溶解または膨潤
n-オクタノール／水分分配係数(log 値)	データなし
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	1.15～1.30
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の手扱いでは安定である。
安定性	通常の手扱いでは安定である。
危険有害反応可能性	通常の手扱いでは安定である。
避けるべき条件	情報なし。
混触危険物質	情報なし。
危険有害な分解生成物	加熱により一酸化炭素、二酸化炭素、塩化水素を生じる。

1.1. 有害性情報

製品としての安全性試験は行っていない。

○ 各成分の健康有害性情報

成分番号	内容成分 (化学名または一般名)	GHS分類 有害性情報
1	合成ゴムエラストマー	全ての項目で分類基準に該当しない (区分に該当しない または 分類できない)
2	無機充填剤	全ての項目で分類基準に該当しない (区分に該当しない または 分類できない)
3	酸化チタン (IV)	下表参照
4	その他添加剤	全ての項目で分類基準に該当しない (区分に該当しない または 分類できない)
5	粘着部 粘着テープ	全ての項目で分類基準に該当しない (区分に該当しない または 分類できない)

製品評価技術基盤機構 (n i t e) : N I T E 統合版 GHS 分類結果より

成分番号	内容成分 (化学名または一般名)	急性毒性 (経皮)	急性毒性 (経口)	急性毒性 (吸入:ガス)	急性毒性 (吸入:蒸気)	急性毒性 (吸入:粉塵)	急性毒性 (吸入:ミスト)
3	酸化チタン (IV)	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない	区分に該当しない

成分番号	内容成分 (化学名または一般名)	皮膚腐食性・ 刺激性	眼損傷性・ 刺激性	呼吸器感受性	皮膚感受性	生殖細胞 変異原性	発がん性
3	酸化チタン (IV)	区分に該当しない	分類できない	分類できない	区分に該当しない	分類できない	区分2 ※1

成分番号	内容成分 (化学名または一般名)	生殖毒性	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	誤えん有害性
3	酸化チタン (IV)	分類できない	分類できない	区分1 (呼吸器) ※2	分類できない

※1: NITE (製品評価技術基盤機構) では発がん性を「区分2」としているが、日本塗料工業会独自の分類結果より「分類できない」として扱うものとする。

※2: NITE (製品評価技術基盤機構) では特定標的臓器毒性 (反復ばく露) を区分1 (呼吸器) としているが、当製品がゴム部材であり粉体として飛散することはないので、「分類できない」として扱うものとする。

1.2. 環境影響情報

製品としての安全性試験は行っていない。

- ・水生環境有害性以外の生態毒性: 情報なし
- ・残留性・分解性: 情報なし
- ・生体蓄積性: 情報なし
- ・土壌中の移動性: 情報なし

○ 各成分の環境影響情報

成分番号	内容成分 (化学名または一般名)	GHS分類 環境影響情報
1	合成ゴム	全ての項目で分類基準に該当しない (区分に該当しない または 分類できない)
2	無機充填剤	全ての項目で分類基準に該当しない (区分に該当しない または 分類できない)
3	酸化チタン (IV)	下表参照
4	その他添加剤	全ての項目で分類基準に該当しない (区分に該当しない または 分類できない)
5	粘着部 粘着テープ	全ての項目で分類基準に該当しない (区分に該当しない または 分類できない)

廃棄などの際には、環境に影響を与えるおそれがあるので、取り扱いに注意する。

製品評価技術基盤機構 (n i t e) : N I T E 統合版 GHS 分類結果より

成分番号	内容成分 (化学名または一般名)	水生環境有害性 短期 (急性)	水生環境有害性 長期 (慢性)	オゾン層への有害性
3	酸化チタン (IV)	区分に該当しない	区分4	分類できない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。
産業廃棄物として許可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約をして処理をすること。
焼却する場合は、塩化水素などの有害かつ腐食性を有するガスが発生するため注意すること。
また、それに対応した焼却設備を用いて焼却すること。
海洋生物、鳥類が摂取することを防止するため、いかなる海洋や水域でも投棄、放出してはならない。

14. 輸送上の注意

国連番号 (UN No.) : 該当しない
品名 (Proper Shipping Name) : 該当しない
クラス (Class) : 該当しない
容器等級 (Packing Group) : 該当しない
緊急時対応措置指針番号 : 該当しない

国際規制

海上規制情報 : IMOの規定に従う。
Marine Pollutant : Not applicable
航空規制情報 : I C O / I A T A の規定に従う。

国内規制

陸上規制情報 : 消防法、労働安全衛生法、毒劇物法に該当する場合は、それぞれの該当法律に定められる
運送方法に従うこと。
消防法：指定可燃物・合成樹脂類（指定数量3000kg以上）
海上規制情報 : 船舶安全法（危険物船舶運送及び貯蔵規則（危規則））に従う。
海洋汚染物質 : 非該当
航空規制情報 : 航空法に従う。

特別安全対策

高温多湿、直射日光を避けて下さい。風雨、結露などによる水漏れに注意して下さい。
落下や引きずる等の荷扱いは避けて下さい。荷崩れの防止を確実に。重量物を上積みしない。

15. 適用法令

消防法 第9条の4 : 指定可燃物 合成樹脂類（指定数量3000kg以上）

労働安全衛生法

: 第14条 政令第6条別表第1 非該当
: 第57条 名称等を表示すべき有害物
: 第57条-2 名称等を通知すべき有害物
酸化チタン（IV）（1～5% 営業秘密）
: 第28条3項（健康障害を防止するための指針公表したもの） 非該当
: 有機溶剤中毒予防規則 非該当
: 特定化学物質障害予防規則 非該当 ※ 令和2年4月22日交付時点での追加化学物質まで
: 労働安全衛生規則第577条の2第3項（がん原生物質） 非該当
: 労働安全衛生規則第577条の2第2項（濃度基準値設定67物質） 非該当
: 労働安全衛生規則第594条の2（皮膚等障害化学物質等）
皮膚刺激性有害物質 非該当
皮膚吸収性有害物質 非該当

化学物質管理促進（PRTR）法（令和5年4月1日施行） : 非該当
毒物及び劇物取締法 : 非該当

悪臭防止法 : 非該当
大気汚染防止法 : 非該当
水質汚濁防止法 : 非該当
海洋汚染防止法 : 有害液体物質Z類物質 酸化チタン（IV）

16. その他の情報

参考文献

- 1) 溶剤ポケットブック1997（オーム社）
- 2) GHS対応SDS・ラベル作成ガイドブック改訂第4版（日本塗料工業会）
- 3) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構（n i t e）
- 4) 職場のあんぜんサイト：GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報
- 5) 化学物質等法規制便覧2021年版（化学工業日報社）
- 6) 各原料SDS 等

本SDSの内容は、法規改正、新しい知見や情報入手、試験等により改訂されることがあります。
記載内容は現時点で入手できた資料や文献等の情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関してはその製品を代表する値であり、保証値ではありません。
記載にある各事項は通常の取り扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、使用者において新たに用途／用法に適した安全策をご実施の上、お取り扱い願います。
また本SDSには通常の危険性や有害性について記載してありますが、記載内容以外の危険性や有害性が存在しないということは保証できません。全ての化学製品には、未知の危険性や有害性があり得るため、お取り扱いには細心の注意が必要です。